

科目名 (英文名)	知識ネットワーク構成論 Knowledge Network	期間	前期	(フリガナ) 担当者	コマチ ユウシ ナイトウ ヒロシ 小町 祐史、内藤 広志
講義方針	前半は、Web2.0 環境において購買履歴やユーザプロフィールから規則性を発見するデータマイニングのアルゴリズムを輪講形式で学ぶ。後半は、分散知識環境の中で、知識ネットワークをどのように設計すべきかを講述する。				
講義内容	分散知識環境および Web2.0 環境において、コンピュータが自律的に協調し、自身の分散デジタルコンテンツを体系化および知識化して、共通の知識として利用するための「知識ネットワーク構成技術」について講述する。				
講義計画	回数	テーマ	回数	テーマ	
	第 1 回	2名の教員による前半と後半の授業の方針と概要説明	第 8 回	決定木によるモデリング (内藤)	
	第 2 回	Python 入門 (内藤)	第 9 回	知識ネットワーク構成技術の動向 (小町)	
	第 3 回	推薦を行う (内藤)	第 10 回	分散デジタルコンテンツとその体系化・知識化 (小町)	
	第 4 回	グループを見つけ出す (内藤)	第 11 回	分散デジタルコンテンツの記述 (小町)	
	第 5 回	検索とランキング (内藤)	第 12 回	分散デジタルコンテンツの記述 (小町)	
	第 6 回	最適化 (内藤)	第 13 回	分散デジタルコンテンツの記述 (小町)	
	第 7 回	ドキュメントフィルタリング (内藤)	第 14 回	分散知識ネットワーク設計 (小町)	
				第 15 回	分散知識ネットワーク設計 (小町)
評価方法	授業中におけるプレゼンとレポートによって総合的に評価する。				
評価割合 評価基準	A：処理系で実行できる適切なインスタンスを作成できる。 B：処理系で実行できるインスタンスを作成できる。 C：処理系での動作に問題は残るがインスタンスを作成できる。 D：プレゼンとレポートにおいて課題の理解が十分とは認められない。 F：プレゼンもレポートの提出も行われていない。				
教材	印	教材の別	書名	著者名	出版社名
		教科書	集合知プログラミング	Toby Segaran	オライリージャパン
		教科書	トピックマップ入門	内藤 求	東京電機大学出版局
受講心得	プログラミング、ネットワークおよび Web 構築の基本知識を獲得していることを前提とする。				